

教科書やネットではみつけれない AIに負けない自分探し ～揖斐ジモト大学～

就職や進学で地元を離れるかもしれない…その前に、中高生が、地元で活躍する大人たちと出会い、地域で働くことや、こだわりの人生について、体験しながら、本気で話し合うプログラムが開催されました。

(未来戦略室)

この夏の出会いが、君の未来につながる



参加者の感想
・実際に現場で働いている人に出会い、与えられた仕事をこなすのではなく、「こんな町にしたい」という具体的な思いをもっていることを知った。
岐阜高専3年 小寺 朱華さん

**未来を建設、地域を元気に！
建設業のできることに**
講師：久保田智也さん
(久保田工務店)

中高生が、揖斐川町で活躍する大人と語り合うプログラム、「揖斐ジモト大学」が開催されました。
これは、東京や名古屋でなくても、揖斐川町で活躍している大人もたくさんいるので、中高生が進学や就職で地元から離れる前に、地元で活躍する大人たちを知ってほしいと、今年新たな取り組みとしてスタートしました。
地域で働くことや、こだわりの人生について、中高生が大人と本気で話すことで、教科書やネットでは見つけられない、将来の『自分探し』につながれると思います。



**揖斐
ジモト大学**
IBI JIMOTO DAIGAKU

with IMCC
揖斐川町未来センター会議



参加者の感想
・新しいイベントを企画したときの経緯を聞いて、自分も仲間と新しいことにチャレンジしたいと思った。
大垣日大高2年 木戸 康暉さん
イベントに対してこだわりを持つことが、魅力を際立たせることにつながることを知った。
揖斐川中1年 梅村 颯さん

**好きなことを
仲間とやってみよう**
講師：久保田大介さん
(揖斐川ワンダーピクニック)



参加者の感想
・あらゆるお菓子を食べてみることで味覚を磨き、おいしさを追求しているの聞いて、自分も苦手なものにもいろいろとチャレンジしてみようと思った。
揖斐高1年 森本 愛歌さん

お菓子でみんなを元気に
講師：牧村 昌幸さん
(揖斐菓匠庵みわ屋)





▲第3回いび川クラシックカーミーティング in TANIGUMI

小さな一歩応援事業に4つの事業が採択されました！

揖斐川町では、まちづくりを担う取り組みをしている団体を応援しています。「小さな一歩」応援事業では、地域の特性やふるさとの資源を活かして、住民が自ら町の課題を解決したり、町を元気にする新たな取組みを実施しようとする団体に対し、補助金を交付しており、今年度も4つの事業が採択されました。

■おじま親子防災キャンプ
団体名・おじま防災士チーム
住民の防災意識を高めるため、公民館・小学校体育館を利用して防災キャンプを行う事業

■第3回いび川クラシックカーミーティング in TANIGUMI
団体名・谷汲門前ミーティング実行委員会
谷汲門前・華厳寺の知名度の向上を図り、住民同士の結束を深めることを目的とした谷汲門前参道でクラシックカーの展示を行う事業

■小島の灯籠プロジェクト
団体名・小島村運営委員会
子どもたちが作った灯籠の光で屋台をつなぎ、自らの力で夏祭りを美しく彩る事業

■シェアオフィス「畑オフィス」
団体名・谷汲はたらくラボ
樽見鉄道谷汲口駅前の空き家を改装し、地域で仕事を興したい人へ拠点（シェアオフィス）として提供するとともに、さまざまな人と交流することによって、地域の魅力を高めつつ、雇用創出や移住促進を図る事業。



フランスから見た
揖斐川の魅力

講師：保井円さん
(大和神社)

参加者の感想
・かまどご飯や豆腐などを食べ比べして、揖斐川町に残る本物の素材の良さがわかった。フランス人が求める本物が揖斐川町に多くあることがわかった。
揖斐高2年 栗木 麻衣さん



医療の現場の最前線！
まちの医療のヒミツを探れ

講師：西脇健太郎さん
(谷汲中央診療所)

参加者の感想
・医療の仕事は人を楽にさせ、笑顔にできる大切な仕事だと気づき、自分もそんな仕事に就きたいと思った。
揖斐高3年 大久保綾人さん



みんなでやるまいか、
パン屋さんを取材しよう

講師：藤田優さん
(チームおじま)

参加者の感想
・「豊かな食」となり得るドイッパンの特性と現代日本の課題をマッチングした取組みを揖斐川町で何か考えてみたい。
大垣商業高3年 御田村果純さん



みんなの大切な
養老鉄道だから！

講師：大西恵子さん
(「養老鉄道」の未来をつくるネットワーク西濃)

参加者の感想
・揖斐駅にいろいろな人が関わっていることを知った。胥永地区の地域活動と揖斐駅存続の活動を力を合わせて互いに進展させていきたい。
揖斐高2年 新川 裕太さん





小学生かけっこ教室開催!! 8.31 Sat.

8/31(土)「かけっこ教室」を開催しました。講師には、現役陸上選手の和戸達哉さんをお迎えし、揖斐川町の子どもたち約130人が参加しました。

「走りの基本(姿勢)」「地面への足のつき方・腕の振り方」など、走る上で大切なことをたくさん教えていただくことができました。

「走り方」というのは、学校や陸上以外のスポーツでは意外と教わりません。「マラソンの町」で育つ子どもたちが、この教室を通して走る楽しさを味わい、走る自信を身に付けることができたように思います。これをきっかけに、走ることに興味をもつ子供たちが増え、いつかいびがわマラソンに挑戦してくれる日がくると大変嬉しく思います。

いびがわマラソン事務局では、今後も大人のみならず、子どもたちが参加でき楽しむことのできる企画を考えていきます!



投稿しよう!! みんなでカタリバ



いびがわマラソンの魅力の一つに応援があります。

大会は一日ですが、大会公式ホームページには、一年を通して、ランナーと応援する人、ボランティアの皆さんをつなぐ「みんながカタリバ」があります。

いびがわマラソンのホームページに誰もがメッセージを掲載できるので、それぞれの想いを伝えてもらえると、大会当日だけでなく、どんどん盛り上がっていくのではないのでしょうか?

ランナーに向けて応援メッセージやランナーの意気込み、ボランティアの係りの紹介など、どんどん発信されるといいですね。

【メッセージの例】

毎年、井口橋で応援しています。全国から集まってくるランナーの皆さんに、「いびがわに来てくれてありがとう!」の気持ちで手作りの旗とハイタッチで応援しています、楽しみにしててください。

地元ランナーの方が主催する秋の練習会が楽しみです。いびがわを走る仲間ができて、大会がより楽しみになっています。

応援犬タロウの絵本が大好きです。タロウはいませんが、あの場所に立つと自然とタロウがよみがえってきます。今年もタロウのことを思い浮かべながら、走ります。

いびがわマラソンのホームページ中段左の「みんながカタリバ」をクリック!!



【お問い合わせ】 いびがわマラソン事務局 (Tel.23-0117)